

日本農学アカデミー 第 29 回総会報告

日本農学アカデミー事務局

第 29 回総会は、書面審議にて開催された。

会員数 178 名に対し、書面提出数（書面表決書）124 枚、未回答 65 枚であった。

総会では、

- ①令和 6 年度事業報告（案）
- ②令和 6 年度収支決算（案）
- ③令和 7 年度事業計画（案）
- ④令和 7 年度収支予算（案）
- ⑤第 13 期役員（案）

について審議が行われ、①～⑤の議案において、賛成 124 票・反対 0 票で承認された。

総会に先立ち、7 月 1 日にオンラインで開催された理事会には、理事 16 名、監事 2 名が出席した。

例年、総会後に開催されていたミニシンポジウムならびに懇親会は中止とした。

日本農学アカデミー第 29 回総会 次第

日本農学アカデミー第 29 回総会は、書面決議にて開催することとする。

1 議案

- | | |
|---------|--------------------------|
| 第 1 号議案 | 令和 6 年度事業報告（案）について |
| 第 2 号議案 | 令和 6 年度収支決算（案）について |
| 第 3 号議案 | 令和 7 年度事業計画（案）について |
| 第 4 号議案 | 令和 7 年度収支予算（案）について |
| 第 5 号議案 | 第 13 期日本農学アカデミー役員（案）について |
| その他 | |

4 配布資料

資料 日本農学アカデミー第 29 回総会 総会資料

- ① 令和 6 年度の入退会者一覧
- ② 令和 6 年度収支決算書（案）
- ③ 監査報告書
- ④ 秋のシンポジウム（案）
- ⑤ 令和 7 年度収支予算書（案）
- ⑥ 第 13 期日本農学アカデミー役員（案）

日本農学アカデミー第 29 回総会 総会資料

【第 1 号議案】令和 6 年度事業報告（案）について

1 会員数の状況

正会員 179 名、特別顧問 10 名、賛助会員 3 団体

（令和 6 年度末現在、年度末退会者数は反映済）

令和 6 年度の入会者 5 名、退会者 15 名（資料①参照）

2 ミニシンポジウムの開催

開催を見送った。

3 シンポジウムの開催

(1) 「能登の今 ―令和 6 年能登半島地震による農林水産業の被害と復興への展望―」

日時：令和 6 年 11 月 9 日（土）13：00～17：00

場所：ハイブリッド開催

主催：日本農学アカデミー、公益財団法人農学会、一般社団法人日本農学会

後援：東京大学大学院農学生命科学研究科、ワールドウォッチジャパン、
石川県立大学、金沢大学

内容：創造的復興とは何か

―能登半島から考える次世代の日本と未来への希望、大学が果たすべき役割

谷内江昭宏

能登半島地震による石川県の農林水産業の被害と復旧・復興

吉田健一

能登半島地震で発生した土砂災害の特徴

大丸裕武

石川県立大学の復興支援プロジェクトと畜産への震災の影響

橋谷田 豊

能登半島の漁港が受けた被害について

木谷洋一郎

能登観光再興の一助に――日本一非効率な千枚田で米づくり

山下博之

能登半島地震から 10 か月――酪農の現状と復興への課題

西出 穰

総合討論

金子豊二＋すべての登壇者

(2) 「気候変動下の食料生産の確保に向けた研究最前線」

日時：令和 7 年 3 月 16 日（日）13：00～17：30

場所：ハイブリッド開催

主催：公益財団法人農学会、日本農学アカデミー、日本学術会議育種学分科会

後援：東京大学大学院農学生命科学研究科、ワールドウォッチ・ジャパン

内容：気候変動下の食料生産：日本の稲作への影響と適応を事例として

長谷川利拡

ゼロエミッション植物工場～植物工場の社会的・文化的な普及に向けて～

林 絵理

作物による硝化抑制で地球環境にやさしい効率のよい食料生産を

吉橋 忠

気候変動に応えるデータ駆動型育種：品種改良の新たな可能性

岩田洋佳

遺伝資源開発による高温・乾燥耐性コムギ育種への挑戦

辻本 壽

総合討論

磯部祥子＋すべての登壇者

4 学術シンポジウム等の支援及び助成

理事会の承認を受け、次のシンポジウム等の支援及び助成を行った。

- (1) 「スタートアップが繋げる農学と農業 一望ましい共創のあり方ー」(後援)

日時：令和6年8月29日(木)

経費：負担なし

- (2) 「地球規模の変化に対応したレジリエントな水産業

ー水産業を評価するための基準を考え直すー」(共催)

日時：令和7年3月14日(金)

経費：負担なし

- (3) 「BVOC 研究の新展開

ー進化論から新規計測法、大気質影響までの最新の知見ー」(共催)

日時：令和7年6月27日(金)

経費：3万円

(※令和6年度中に共催依頼があったため、令和6年度経費として支出した。)

5 総会、理事会等の開催

- (1) 幹事会の開催

日時：令和6年4月15日(月) 19:00～20:00

場所：オンライン開催

- (2) 理事会の開催

日時：令和6年7月3日(水) 10:00～12:00

場所：オンライン開催

- (3) 第27回総会の開催

書面審議にて開催した。

- (3) 第28回臨時総会の開催

書面審議にて開催した。

6 会報の発行

令和6年度は、第41号（6月）及び第42号（12月）を作成し、ホームページに掲載した。

7 アカデミー便りの発行

会員間の情報共有のため、毎月発行し、会員にメール配信ならびに郵送した。

8 ホームページの充実

諸情報を逐次更新するとともに、会報やシンポジウムの案内を掲載するなど、内容の充実を図った。

【第 2 号議案】令和 6 年度収支決算（案）について
（資料②及び③参照）

【第 3 号議案】令和 7 年度事業計画（案）について

- 1 会員の拡大
- 2 会報の作成
- 3 シンポジウム（11 月）の開催（資料④参照）
- 4 学術シンポジウムの助成及び後援
- 5 総会、理事会等の開催
- 6 ホームページの充実
- 7 農学諸問題に関する調査等を実施し、日本農学アカデミー声明、提言及び会長談話等の発出
- 8 その他、本会の目的を達成するために必要な事業

【第 4 号議案】令和 7 年度収支予算（案）について
（資料⑤参照）

【第 5 号議案】第 13 期日本農学アカデミー役員（案）について
（資料⑥参照）

【その他】

- 1 令和 7 年度からの変更点について

【事務局】公益財団法人日本学術協力財団 → 公益財団法人農学会

【会費】正会員 10,000 円 → 7,000 円

【『学術の動向』】配布終了

上記変更に伴い、「会則」ならびに「理事会申し合わせ」を改正した。

2024 年度の入退会者一覧

2024 年度入会者

(5 名)

小沢 亙	長崎 裕司	
橘田 和美	松山 旭	
東出 忠桐		(敬称略)

2024 年度退会者

(15 名)

荒井 聡	祖田 修 (逝去)	中島 隆
石原 昂	滝本 勇治	
門脇 光一	塚本 康浩 (長期未納)	陽 捷行
佐古 宣道	柘植 尚志	蓑茂 壽太郎
進士 五十八	渡嘉敷 勝	吉川 泰弘
		(敬称略)

日本農学アカデミー 2024年度収支決算書（案）
（2024年4月1日～2025年3月31日）

（単位：円）

科 目	予 算 額 ①	決 算 額 ②	差 異 ①－②	備 考
I 収 入 の 部				
会費収入	2,065,000	1,900,000	165,000	正会員分 1,750,000円 賛助会員分 150,000円
預金利息	40	2,007	△ 1,967	
当期収入合計 (A)	2,065,040	1,902,007	163,033	
II 支 出 の 部				
会議費	300,000	326,196	△ 26,196	シンポジウム経費等
諸謝金	200,000	200,466	△ 466	シンポジウム講師謝金
通信運搬費	79,100	120,788	△ 41,688	総会・シンポジウム案内等、 切手・葉書
消耗品費	10,000	11,848	△ 1,848	事務用消耗品
印刷製本費	60,000	27,001	32,999	シンポジウムチラシ、資料、封筒
図書購入費	897,600	890,587	7,013	『学術の動向』購入費 （@1,650*0.85*635冊）
学会等助成費	150,000	30,000	120,000	シンポジウム助成金 （@30,000*1件）
ホームページ管理費	123,843	123,905	△ 62	ホームページ更新料等
日本農学進歩賞共催負担金	100,000	100,000	0	
業務委託費	200,000	200,000	0	事務管理費
振込手数料	25,000	21,188	3,812	会費振込手数料（加入者負担）等
予備費	100,000	0	100,000	
当期支出合計 (B)	2,245,543	2,051,979	193,564	
当期収支差額 (C)=(A)-(B)	△ 180,503	△ 149,972	△ 30,531	
前期繰越額 (D)	3,042,458	3,042,458	0	
次期繰越額 (E)=(C)+(D)	2,861,955	2,892,486	△ 30,531	

預貯金残高

内 訳	金 額
現金	0
郵便貯金	0
三井住友銀行普通預金	1,892,486
三井住友銀行定期預金	1,000,000
計	2,892,486

監 査 報 告 書

日本農学アカデミーの令和6年4月1日から令和7年3月31日における会計及び業務について、監査を行った。

その結果、会計処理は適正であり、理事の業務の執行に関し不正の行為又は法令もしくは会則に違反する重大な事実はないことを認める。

令和7年5月20日

日本農学アカデミー

監事 小 泉 健 

監事 梅 本 雅 

25.6.26

日本農学アカデミー 2025 年度シンポジウム案

日時：2025 年 11 月 1 日（土）13:00~17:30

場所：東京大学弥生講堂

共催：公益財団法人農学会

後援：東京大学大学院農学生命科学研究科

「わが国の農業の将来を考える——今求められているものは何か」

開催趣旨：

本年 4 月に食料・農業・農村基本法改正後初の「食料・農業・農村基本計画」が閣議決定された。この中でわが国の農業、農村は「国の基」とされながらも、さまざまな問題が指摘され、それらに対する対処方針が示されている。わが国の農業はまさに国内的にも国際的にもさまざまな問題に直面している。

このシンポジウムでは食料・農業・農村基本計画の内容を紹介するとともに、わが国の農業の現状と将来の目指すべき姿をさまざまな立場から捉える。

（演題案 すべて仮題）

- ・ 基調講演：食料・農業・農村基本計画の概要
（中嶋康博、女子栄養大学教授）
- ・ 八ヶ岳の自然を活かした農業人材育成と地域貢献
（丸山侑佑、八ヶ岳農業大学校校長）
- ・ 戦略的農業経営——衰退脱却へのビジネスモデル改革
（渋谷往男、東京農業大学教授）
- ・ スマート農業の役割
（野口 伸、北海道大学大学院農学研究院長・教授）
- ・ 肥料の安定供給と食料安全保障
（小針美和、農林中金総合研究所・主任研究員）
- ・ 農業・食・エネルギーの現場から
（金丸弘美、食環境ジャーナリスト）

総合討論 司会者 中嶋 康博

日本農学アカデミー 2025 (R7) 年度収支予算

(2025年4月1日～2026年3月31日)

(単位：円)

科 目	予 算 額	備 考
I 収 入 の 部		
会費収入	1,430,000	正会員（一般7A、シニア5A）、賛助会員（50A）
預金利息	2,000	2024年度実績（2,007円）
収 入 合 計 (A)	1,432,000	
II 支 出 の 部		
会議費	300,000	11月シンポジウム開催費(交通費・宿泊費含)20万円 3月シンポジウム10万円(農学会)
諸謝金	200,000	シンポジウム講師謝金等
通信運搬費	83,000	総会等案内、シンポジウム案内等、切手
消耗品費	10,000	事務用消耗品
印刷製本費	30,000	ポスター、封筒等印刷費
学会等助成費	150,000	シンポジウム等の助成金(@30,000×5件)
ホームページ管理費	39,905	更新料(36000円)、サーバ、ドメイン維持料(3905円)
日本農学進歩賞協賛金	100,000	(公財)農学会
業務委託費	600,000	事務管理費((公財)農学会)
振込手数料	5,000	
予備費	100,000	
支 出 合 計 (B)	1,617,905	
収支差額 (C)=(A)-(B)	(185,905)	
前年度からの繰越金(D)	2,892,486	
次年度繰越(E)=(C)+(D)	2,706,581	

第13期日本農学アカデミー役員

令和7年7月●日

会 長・理事	生源寺眞一	(公財) 日本農業研究所研究員、 東京大学・福島大学名誉教授
副会長・理事	大杉 立	日本学術会議連携会員、東京農業大学客員教授
副会長・理事	佐々木昭博	東京農業大学参与・客員教授
副会長・理事	中西 友子	日本学術会議連携会員、東京大学名誉教授・特任教授
副会長・理事	松山 旭	キッコーマン株式会社取締役常務執行役員
理事	石塚真由美	日本学術会議連携会員、北海道大学大学院教授
理事	井手 任	(国研) 農研機構理事
理事	江口 文陽	東京農業大学長
理事	鈴木 孝子	(国研) 農研機構理事
理事	湯川 智行	(国研) 農研機構理事
理事	倉田 のり	国立遺伝学研究所名誉教授
	→ 磯部 祥子	
		日本学術会議第二部会員、東京大学大学院農学生命科学研究科教授
理事	小山 修	(国研) 国際農林水産業研究センター理事長
理事	嶋田 透	学習院大学理学部長・教授、東京大学名誉教授
理事	土井 元章	日本学術会議第二部会員、京都大学名誉教授
理事	中静(浅野) 透	(国研) 森林研究・整備機構理事長
理事	中嶋 康博	日本学術会議第二部会員、女子栄養大学教授
理事	中谷 誠	(国研) 農研機構副理事長
理事	松田 幹	福島大学農学群食農学類教授
理事	和田 時夫	(一社) 全国水産技術協会専務理事
理事	渡部 終五	北里大学客員教授
監事	梅本 雅	(国研) 農研機構元理事
監事	小泉 健	(公社) 農業農村工学会専務理事

(五十音順)